

平成 27 年度山野学苑事業報告

はじめに

学校法人山野学苑は、初代校長山野愛子・山野治一総長によって昭和9年に創立され、わが国の美容界の発展を念願しつつ、「髪・顔・装い・精神美・健康美」の五大原則を「美道」として教育に専念して今年で81周年を迎えました。

山野愛子初代校長が確立した「美道」は、山野正義総長が「美容福祉」へと発展させ、さらに美容界で初めてジェロントロジー教育の実践・普及活動を通じて地方創生・地域の活性化に貢献しています。

山野愛子ジェーン理事長は、更なる歴史の継承と国際的視点から教育のチェンジを目指しています。

以下、各学校の主な事業活動についてご報告します。

《短期大学》

短期大学は、美容総合学科としての、美容デザイン専攻、エステティック専攻、国際美容コミュニケーション専攻の3専攻、学士取得可能な専攻科芸術専攻、そして留学生を対象とした日本語教育を実施する日本語別科の体制でした。

1 各専攻の特色

(1) 美容デザイン専攻

美容師の国家資格取得を目指す専攻です。トータルな美容技術を修得するとともに教養も身に付けて、美容界のリーダーとなるような人材の育成を目指します。

(2) エステティック専攻

エステティック技術を中心に学びますが、メイクや着装技術、ネイルなど美容関連の技術も修得し、総合力を持つエステティシャンを目指します。2大組織である日本エステティック協会と日本エステティック業協会に共に加盟し検定取得も目指します。

(3) 国際美容コミュニケーション専攻

グローバルな人材育成が叫ばれる中、必須とも言える英語力を身につけ、同時に美容関連技術も修得して、海外も視野に入れた美容業界での活躍を目指します。

(4) 日本語別科

留学生を対象にした日本語教育機関ですが、将来的に短大への入学を希望する

留学生を獲得するために、まずは基本となる日本語力の向上を目指します。

2 卒業後の進路

(1) 美容デザイン専攻

短大の特徴である就職の多様化が昨年よりも進みました。美容室・アイラッシュが昨年 81%から 77%に、ネイルサロンが 4%から 1%に、一般企業は昨年の 6%から 11%に、ほか進学 4%、留学 2%、帰国 3%などでした。

(2) エステティック専攻

エステ専攻も就職の多様化傾向がさらに進みました。エステサロン就職が 91%、80%、そして今年が 79%と徐々に下がってきました。一般企業は 7%から 14%に、進学が 12%から 14%に、その他 1%でした。

(3) 国際美容コミュニケーション専攻

化粧品関連を中心にアパレルなどの一般企業が昨年の 43%から 67%に増加。逆に美容系サロンが 36%から 11%に減少しました。ほかエステ関係が 2%でした。進路として広めていきたい進学が 5%、留学は 6%となりました。
なお留学生の美容業界への就職は本科生 3 名、専攻科生 2 名の計 5 名となりました。

3 キャリアサポート

(1) ゼミナール

キャリア支援や人間教育に柱を置いた「ゼミナール」では、ホスピタリティ能力、コミュニケーション力等の社会人基礎力の育成を柱とし、少人数制の人間教育、キャリア教育をさらに充実させるべく取り組んできました。

(2) インターンシップ

ヘアサロン、エステサロン、ネイルサロン、ブライダル企業、一般企業、さらに進学、留学など進路の多様化の開拓を進めてまいりました。1 年次の夏と 2 年への進級直前の 3 月、2 週間から 1 ヶ月ほどのインターンシップで現場力を体感すると同時に社会人としての意識付けをねらいます。

昨年度、86 社 100 人、27 年度は 62 社 137 人でした。

実施内容として、ホテル、スパレセプション、化粧品、ネイルサロン、美容室、エステ、結婚式場、写真スタジオ、衣装会社、航空会社（ラウンジ）、海外（航空会社地上職、ブライダル）などを実施しました。

(3) キャリア支援センター

キャリア支援センターは、ゼミ担当教諭と密接な連携を図りながら、就職先

の開拓、インターンシップ先の開拓も進めて提携先を増やし、学生にとって有効な情報の提供に努めると同時に就職の心構えなどの特別講座の実施（講演）、企業説明会の実施（サロン、ブライダル、写真スタジオ、一般企業）、個別相談、面接指導、書類指導を行いました。

また、Uターン・Iターン就職協定を長野県、栃木県と締結しました。

4 課外活動

美容という特徴を活かした地域活動、地域貢献等の活動は常に続けてきました。学生ボランティア活動は、必修科目として八王子市提供のボランティアへ学生が参加しています。教員としては、いちよう塾開講として公開講座1講座、提供講座3講座を実施しました。

そのほか地域密着として八王子まつり、民生委員会、柚木フラワーフェスティバル、学生天国、などへの参加。またグローバルな取り組みとしては、アメリカンスクールインジャパン、Tokyo International Players、西町インターナショナルスクールなどでのヘアメイク、着付け、お茶体験など、毎年実施しています。

海外からの短期美容技術研修なども可能な限り受け入れています。

5 学生募集

今年度は28年度入学者の募集を実施。オープンキャンパス、授業見学会、サマースクールなどを開催しました。

28年度の入学者は美容デザイン専攻142名、エステ専攻38名、国際美容コミュニケーション専攻32名と4年間プログラムの長期履修留学生22名、専攻科4名、日本語別科は昨年の10月生と28年度4月入学生の募集を合わせて70名となっています。

長期履修の留学生受け入れは28年度で2年目を迎えます。また日本語別科は代々木の美容専門学校に教室を間借りして2年前に開講しましたが、28年4月から八王子の本校舎へ移転することにしました。中国、台湾、韓国、ネパール、ベトナムから受け入れています。

6 その他

(1) 美齢学の構築

一生を美しく生きることにより美を通して様々なアプローチで研究する学問の構築を総長のリーダーシップのもと学苑本部とともに検討を始めました。28年度に研究センターを開設する予定です。

(2) 産学官の連携について

・長野県、栃木県とのUターンIターン協定のほか、これまでの地域活動の取り組みを統括するために、地元の八王子市と包括協定を締結しました。さらに地元の美容業界ともこれまでの関係をより強めるために東京都美容組合八王子支部に入会しました。

- ・数年前から取り組んできた「ナノバブル水のパーマネント2剤への応用」についての特許申請が認められて特許を取得しました。28年度はパーマネント1剤としての効果を検証すべく研究を開始する予定です。
- ・山野医療専門学校が取り組んでいる「転倒防止の靴下」の実地検証を医療専門学校と福祉施設等と共同で取り組みはじめました。28年度も継続する予定です。

《美容専門学校》

山野美容専門学校は、昭和9年に山野美容講習所として創設されました。以来81年間にわたり初代山野愛子先生が提唱した美道を基本理念として、美容界のため豊かな発想と美的感覚を備えた美容師の養成に努めてきました。近年、美に対する個人の意識が多様化し、また、社会の変革に伴って美容師に対する要望も高度化してきました。特に、これからの超高齢社会においては、美容福祉の重要性を自覚し、福祉についても基本的な知識・技術を学び、人のため癒しの気持ちを施すことができる思いやりと愛の心を備えた美容師を養成することが望まれます。このため、アメリカの南カリフォルニア大学と提携して、日本では東京大学と本校だけでしか学べない学際的学問であるジェロントロジー教育をスカイキャンパスで学んでいます。

このような基本的な考え方を具現化した主要な取り組みは次のとおりです。

(1) 教員の教育力の向上

*教員評価制度の制定による他校との差別化等

- ・基本理念である「美道」を実践できる教員の育成を促進するため、理事長・総括指示のもと教員評価制度を制定し、教員能力の可視化に成功しました。評価基準については「美道五大原則」を基本に教員全員の意見を集約し、公平性と透明性を計っています。
- ・また、教員による研修委員会を設置し、教員のマナーや技術力、指導力など、向上すべきスキルごとに研修会を開催し、年間を通じて教員のスキルアップに努めました。

ほかに、以下の研修会にも参加しております。

- *平成27年8月 全国理容師美容師養成施設教職員研修会 (東京・11名)
- *平成27年11月 東京地区理容師美容師養成施設教職員研修会 (熱海・4名)

(2) 委員会制度の充実

26年度に引き続き、委員会制度による教職員の職務の効率化・共有化を図りました。研修委員会を新設しました。

(3) カリキュラム

2年間という短い時間の中で学生のビジョンを形にしていくためのカリキュラムとして、基礎的な技術を学ぶ基礎プロセス、プロの現場にも役立つ技術や意識、対応力を身につけていくテクニカルプロセス、そして国家試験の全員合格を目指しています。

① カリキュラム You (専門課程)

選択カリキュラムを引き続き採用しており、学生アンケート結果をベースに常に改善を続けています。

平成 26 年度から開講された「精神美」については、前年度の反省をふまえ、講師の充実を図りました。

② カリキュラム LIVE (高等課程)

高等課独自の現役サロン職員による LIVE 授業を継続して実施しています。

③ 通信課程

受講生は主にサロン勤務者を含む社会人であるため、面接授業の時間帯を昼、又は、夜間で選択できるシステムを引き続き採用しています。

一方で、提携校 (VAW 栄光ハイスクール等) からの面接授業受講生は現役の高校生であり、26 年度までは社会人受講生とは要求のレベルや方向性に差異がある点が課題でした。

27 年度では、高校生受講生両者が満足できるクラス編成や指導体制を取り入れています。

(4) 学生サービスの向上

① 環境の整備

学生生活の中で気付いた不満や理不尽な出来事、また、こうしたらもっと良くなるといったアイデアなどを聞くため、ご意見箱を設置し、投書を受理したら速やかに真摯に回答する体制を整えその対応に当たりました。

② キャリア支援

就職指導については、伝統と 21 万人の卒業生を世界の美容界へ送り込んだ実績によって、前年度を上回る 1,200 社 12,000 人の求人数がありました。また、カリキュラムに沿った新たな企業等の開拓にも引き続き取り組んでいます。

③ 人権の尊重

セクハラ・パワハラについては、学生・教員・職員が個人として尊重され、お互いの信頼をもとに教学に専念できる環境を作り、これを維持していくことを重要と考えております。「セクハラ防止等に関する規定」に則り、いかなるセクハラ・パワハラも黙認されたり、見過ごされたりすることがないように、当校の設置するスクールカウンセリング・健康相談室・法律相談室の職員と連携し、これに取り組みました。

④ 社会人基礎力

コミュニケーション力やチームワーク力、自発的に取り組む力、おもてなしの

精神など、接客を生業とする社会人として必要な力や感性を伸ばすための取組を行っております。ほぼ毎週開催されるハッピーランチ、恩師や保護者を招待してのサンクスデイなどの取組のほか、多くのボランティア活動に学生が参加しています。27年度は(株)ソニー・ピクチャーズエンタテインメントの広告作成に500人以上の学生が自発的に参加しました。

ヤングアメリカンズのワークショップにも例年以上におおくの学生が参加しており、本年度はさらにホストファミリーのボランティアにも着手しました。

(5) 卒業生(校友会)とのネットワークの構築

昭和9年に創設され、81年間に及ぶ教育で21万人の卒業生が世界の美容界で活躍しています。卒業生への各種サービスの一環として、学校のホームページにイベント等の情報の提供や就職先としての協力依頼等、また、卒業生相互の絆を更に強力なものにするためのネットワークの拡充に努力しました。

(6) 経営基盤の強化

少子化・価値観の多様化等による入学者の激減により、概算において難しい状況に直面しましたが、迅速な対応で基盤的経費を確保すると共に震災特別学費支援制度を継続して、被災された方で学力優秀・品行方正の希望と素養のある生徒に対して、学費の免除を行う等学業に専念できる環境を整えました。

《医療専門学校》

1 教職員体制の刷新・増強・充実

副校長、事務局長、教員2名を新規入れ替えし、非常勤講師も少数精鋭化し、各職制を明確にすると共に定例教職員会議を毎月実施し、教育部門と事務部門との情報の共有化を図り、国家試験合格率の改善、入学者定員確保、生徒の学校に対する満足度向上のための校風改善等に努めた。

2 国家試験

平成27年度の柔道整復師国家試験の合格率は、新卒者で84.4%であった。昨年より20ポイント以上改善し、全国新卒者平均合格率82.3%を上回った。この成果をより強固なものにして、新卒者合格率の更なる向上を目指した。本年度は後期からのスタートとなったが、来年度は4月からのスタートを目指す。

(1) 新卒生への対策

新卒生の国家試験合格率を上げるために、年間計画に特色をもたせて新卒者全員の国家試験合格を目指した。

- ① 10月から2月にかけて、毎日の朝テスト（国家試験過去問題を10題ずつ）による繰り返し学習を徹底して行った。約1,000題
- ② 学内模試10回、学外模試3回実施した。約3,000題。
- ③ 成績不振者はクラス分けを行い、特別補習授業も実施した。
- ④ 認定実技審査に関しては、試験前の約1か月間、集中的に指導した。全員が合格した。（1名は再試合格）
- ⑤ 12月以降は、国家試験過去問題と新作国家試験対策用問題と外部模試による実力試験を隔週実施し、学力、実力の向上を図る。成績改善の為に必要に応じて個別指導も実施した。

(2) 既卒生への対策

本学の既卒者の合格率は5.3%と毎年低い（全国平均は22%）。

本年度まで既卒生に対して模試の郵送などによる指導と国家試験受験案内などを行ってきたが効果は認められなかった。

来年度からは既卒者に対し年間30万円で全学年の授業を公開し、弱い学科目の受講を自由にするとともに、全模擬試験も受験させて自分の実力を認識できるような指導に変更する。尚、既卒者に対する図書室無料開放は継続する。

今後、国試対策を十分に行っていない既卒者に対して、国試受験を促すことは中止する。

(3) 1、2年生への対策

早い段階から国家試験に対する意識と準備開始を啓蒙している。

スカイキャンパスの活用を推進して教育効果の向上と国試対策の早期開始を実施している。

3 キャリア支援の確立と強化

卒業後の技術研修会、および卒業生の独立開業支援体制の確立、即戦力となる生徒を確実に社会へ送り出す仕組みとしての就職ガイダンスとインターシップ制度の確立について、同窓会組織との連携をとりながら、学校を中心とした卒業生、在校生のネットワークの構築、維持、活動の活性化に取り組んだ。

4 入学定員の確保

広報・生徒募集活動、オープンキャンパスについて活動内容を検証し、より実効的な活動により入学定員の確保に努めた。

(1) 広報活動

ホームページの内容について常に刷新を図り、新鮮で魅力的で有用な情報の掲載に努めたが成果に結びつかなかった。来年度からはスマホ対応形式の導入を計画している。

(2) 募集活動

パンフレットの刷新、指定校制度の新設などの準備に早急に取り組んだが、完成が5月になり、募集活動開始が遅れた。来年度は6月中に高校訪問を完了すべく4月早々からの訪問開始を予定している。

- ① 平成28年度からは、高等学校、接骨院・整骨院への広報・生徒募集活動を6月中に終わるようにする。
- ② 就活がうまくいかなかったスポーツ系の大学生を中心に、受験生の新規開拓を試みたが成果は認められなかった。
- ③ 在校生、卒業生からの受験生紹介をさらに増やす。

(3) オープンキャンパス

年間19回のオープンキャンパスおよび6回の追加臨時ミニオープンキャンパスを実施したが参加者は少なかった。(受験予定者22名、他2年生2名)

入学者は14名に留まったが、14/22で歩留り率は63%と高値であった。

5 カリキュラム、時間割の改定

定期的に関カリキュラムの実施状況について、実態調査を行い、授業科目、授業内容、科目間の連携などについて分析し、問題点の早急解決と改善に取り組む。

- (1) 学科長、教頭は毎日、授業の進捗についてチェックすると同時に、教員との情報交換を綿密に行い、学事についての報告、連絡、相談を徹底した。
- (2) (1)の内容について、毎月の定例教職員会議で情報を整理し、共有し、必要に応じて校長、副校長の判断を仰ぎながら、問題点を改善した。
- (3) 平成25年度から導入された新カリキュラム(1,2年生)と旧カリキュラム(3年生)との差分についての学習効果への影響を分析し、その内容を詳細に明らかにして教育の平等性を確保した。
- (4) 高校からの新卒者入学の増加に伴い、4年制大学への3年生編入をスムーズにするため、来年度から英会話、医学英語、法学の各1単位を新設するようにカリキュラム変更を申請した。

6 授業法方の研修

SD/FD研修を通して教授法の研修、生徒指導の研修、および教材の研究開発に取り組み、学習意欲の向上と教育の均一性の確立に取り組む。

7 楽しい学校生活づくり

生徒、職員、卒業生とのきめ細かな交流を通して楽しい学校づくりを目指している。同窓会組織との連携を密にとりながら、卒業生との交流の機会も積極的に行っている。

8 規律ある学校生活の徹底

医療人を目指すにふさわしい身なり、言動がとれるように朝の挨拶運動を行い、学校での生活指導を徹底した。生徒として、社会人としての自覚を積極的に促した。

9 課外授業、課外活動の充実

各界で活躍中の柔道整復師による特別講義を4回実施した。学生には好評であった。

10 各種資格取得のための講座充実

「ジェロントロジー」、「登録販売者」、「アロマセラピー検定」、「インソール取扱い認定」の他、さらに付加価値として卒業後、柔道整復師としての活動基盤を作るために有効となる「ダイエットコンシェルジュ」や「クレンリネスマネージャー」などの資格取得講座の拡充を図った。

11 「美容柔整」概念の具体化

平成25年度から美容柔整の科目を体系化して新カリキュラムをスタートした。ジェロントロジー、介護福祉、お茶、お花、着付け、アロマセラピー、ハンドマッサージ、ヨガ、美しい姿勢づくりなどを美容柔整として修得させた。ジェロントロジー資格認定証書は新卒者全員に付与された。

12 職業実践専門課程の認定申請

文部科学省が日本の専門学校の「質」を「世界的に保障する」取り組みの1つとして、平成25年度からスタートされた「職業実践専門課程の認定」に向けて、なるべく早期に認定を受けることを目標に申請の準備を開始した。条件である国家試験全国平均値以上は本年度初めてクリア出来たが、入学定員7割以上の確保はクリア出来なかった。

《山野日本語学校》

1 学校の概要

(1) 設置コース

コース名	入学時期	定員
大学進学準備教育1年コース	4月	100名
大学進学準備教育1年半コース	10月	110名
日本語一般1年コース	4月	100名

(2) 教職員数

	専任	非常勤
教員	8人	24人
職員	3人	2人

(3) 生徒数（下段は昨年）

コース名	生徒数	定員充足率
大学進学準備教育1年コース	112人 (82人)	112% (82%)
大学進学準備教育1年半コース	229人 (240人)	208% (218%)
日本語一般1年コース	12人 (21人)	12% (21%)
計	353人 (343人)	114% (111%)

(4) 生徒数（地域別、下段は昨年）

中国	韓国	ベトナム	ネパール	他	計
65% (55%)	5% (12%)	17% (19%)	7% (10%)	6% (4%)	100%

2 事業の概要

- (1) 山野日本語学校はわが国の大学、専門学校へ進学するための日本語教育及び基礎教育を行う、大学進学準備教育1年コース及び大学進学準備教育1年半コースとわが国の大学、専門学校への進学するための日本語教育を行う日本語一般1年コースを設置している。

日本語能力試験(N2以上)の状況（日本語）

	5月	11月	計
受験者数	66人	127人	193人

認定者数	23人	26人	49人
------	-----	-----	-----

進学状況 (カッコ内は昨年)

大学院	大学	短期大学	専修学校
4人(4)	25人(24)	9人(29)	83人(69)

※ 主な進学先

大学院：東京大学、青山学院大学、東洋学園大学、ハリウッド大学院大学

大 学：東京大学、一橋大学、茨城大学、高知県立大学、滋賀県立大学、慶応義塾大学、立教大学、東洋大学、専修大学、西武文理大学、流通経済大学、拓殖大学、武蔵野大学、東京富士大学、麗澤大学、第一工業大学、東京福祉大学、至誠館大学、日本経済大学

(2) 日本語教育のみならず、日本の文化や風習、日本人の考え方を理解することも重要視し、同学苑内の山野美容芸術短期大学、山野美容専門学校、山野医療専門学校と積極的に交流を行った。

山野美容芸術短期大学での留学生交流会に参加し、先輩留学生から見た、日本の文化や風習を知った。

また、山野美容専門学校、山野医療専門学校とは合同の学苑祭、ハッピーランチを行うなど、直接、日本人との共同の作業を行うことで日本人に対する理解を深めた。

(3) 学生募集においては、非漢字圏の選考基準を厳しくし入学者数を減らし、代わりに中国の学生を増やしたことにより、中国学生の比率が60%を超えることとなった。学生募集におけるリスク分散の意味で問題があり、来年度以降の課題となった。